

太子町地域公共交通に関するワークショップ

【畑・山田地域 第2回】

1. ワークショップの開催概要

(1) ワークショップの目的

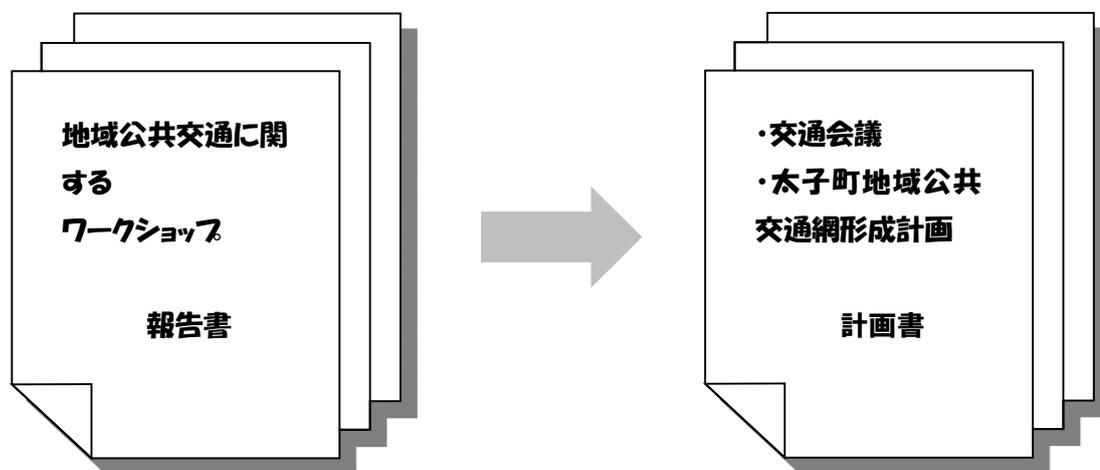
本町では、人口減少や高齢化が進む中で、自動車を移動手段として利用されている場合が多い状況である。このような状況の中、将来にわたって地域住民に利用される持続可能な地域公共交通の構築を図る必要がある。

この背景を踏まえ、昨年度、本町の今後の地域公共交通のあり方を示した「太子町地域公共交通基本計画」を策定した。この基本計画に基づき、今年度より、持続可能な地域公共交通の実現に向けて、より具体的な検討を行っていく。

持続可能な地域公共交通の実現にあたっては、住民、事業者、行政が協働で取り組んでいく必要がある。そこで、ワークショップは、公共交通空白・不便地域の住民が、自分たちが使う地域公共交通について学び、現況の問題点や課題、それらを解消するための対応策や取り組みなどについて話し合い、持続可能な公共交通の実現に向け、自分たちでできることを考える。

(2) ワークショップの役割

公共交通空白・不便地域において、住民が日頃から感じている移動に関する課題を解消するために、利用者の立場に立った具体的な解決方法や提案事項を検討していただく。本町の公共交通における課題や将来像について、話し合い、意見交換などを通じた意見を集約し、その内容について必要に応じ、太子町地域公共交通会議に反映していく。



まとめた報告書は、太子町地域公共交通会議ならびに本会議が作成する「太子町地域公共交通網形成計画」の内容に反映。

※なお、報告書がそのまま計画書になるものではない。

(3) ワークショップの開催日程

【畑・山田】

	開催日	参加人数	テーマ	内容
第1回	2018年 11月17日 (土)	21名	現況の課題と公共交通 の必要性	<ul style="list-style-type: none">・現在の移動について考えよう・どんな公共交通が欲しいのかを考えよう
第2回	2019年 2月10日 (日)	15名	自分たちができること	<ul style="list-style-type: none">・拠点での乗り換えについて考えよう・みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう

2. ワークショップの結果

(1) 第2回ワークショップ【畑・山田】

①開催概要

日時	2019年2月10日（日） 14：00～16：00
参加者	15名
場所	交流センター
方法	3グループに分かれ、KJ法により、意見カードを模造紙に貼り、整理。最後に、模造紙を使って参加者全員で検討した内容をグループごとに発表しあう。

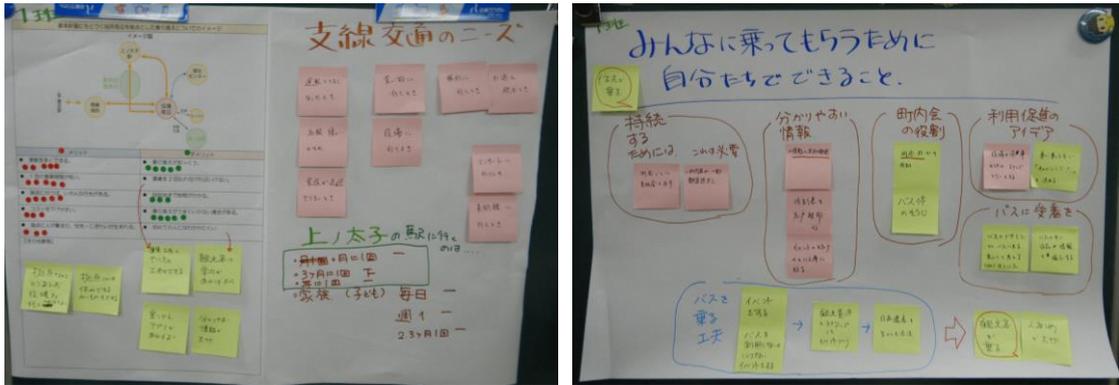
②次第

時間	実施内容
14：00～	【開会】 <ul style="list-style-type: none">・開会のあいさつ・事務局スタッフの紹介・スケジュールについて説明
14：15～	【太子町地域公共交通とワークショップについて】 <ul style="list-style-type: none">・太子町における地域公共交通について説明・本日のワークショップの進め方について説明
15：00～	【グループワーク】 <ul style="list-style-type: none">・グループごとに意見交換を実施・メンバーの自己紹介・『拠点での乗り換えについて考えよう』 役場周辺を拠点とした太子町の公共交通について議論します。・『みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう』 持続的な運行とするため、みんなができる利用促進方法を議論します。
15：40～	【発表・共有】 <ul style="list-style-type: none">・各テーブルの結果を報告し共有（1グループ5分程度）
15：50～ ～16：00	【閉会】 <ul style="list-style-type: none">・閉会のあいさつ・次回ワークショップの案内

③ワークショップの結果

■1班の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	5
1回の乗車時間が短い。	5
拠点に行けば、いろんな行先がある	5
コストを下げやすい	3
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	3

デメリット	
乗り換えがおっくう	5
運賃を2回払わなければいけない	
目的地まで時間がかかる	3
乗り換えがうまくいかない場合がある	5
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
運賃を2回払わなければいけない	運賃2回はやり方の工夫ができる
初めての人にはわかりにくい	観光客は案内があればよい
その他	拠点なのでとりあえず役場まで行ってくれたらよい
	拠点には休憩できるかいものもできる
	乗りかえアプリがあればよい
	分かりやすい情報が大切

○支線交通のニーズについて

支線交通のニーズ	
運転できなくなったとき 買い物に行くとき 旅行に行くとき お酒を飲むとき 高齢、障がいのため 役場に行くとき 家族が送迎できないとき コンサートに行くとき 美術館に行くとき	

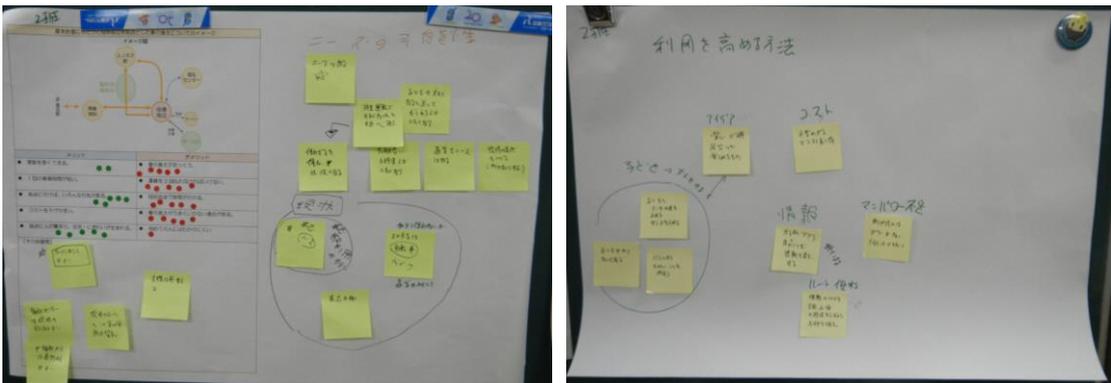
上ノ太子の駅に行くのは	
月に1回	1
3カ月に1回	3
年に1回	1
家族(子ども) 毎日	1
週1	1
2、3カ月1回	1

○自分たちにできること・利用促進について

みんなに乗ってもらうために自分たちでできること	持続するためには、これは必要	住民が乗る
		町会ごとに負担金を出す
		利用者が一部、費用負担する
	分かりやすい情報	情報の周知徹底
		時刻表を各戸配布する
		イベントのお知らせをバス停に貼る
	町内会の役割	町内会での周知
		バス停のそうじ
	利用促進のアイデア	役場の用事的时候はスタンプラリーをする
		車に乗らない「チャレンジデー」を決める
	バスに愛着を	バスのデザインなどバスに乗る楽しさを考える (例) ネコバス
		バスの中に作品や情報を掲示する
	バスを乗る工夫	イベントをする
		バスを利用しないといけない、イベントをする
		↓
観光資源とタイアップして、イベントづくり		
↓		
	日本遺産を生かした方法	
	↓	
	観光客が乗る	
	人あつめが大切	

■2 班主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	2
1回の乗車時間が短い。	
拠点に行けば、いろんな行先がある	5
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	5

デメリット	
乗り換えがおっくう	5
運賃を2回払わなければいけない	5
目的地まで時間がかかる	5
乗り換えがうまくいかない場合がある	5
初めての人にはわかりにくい	1

その他意見	
ないよりある方がよい	
福祉センターは現状の回り方でよい	
福祉バスは通行の方がよい	
現状のルートとこの案の併用が望ましい	
支線は無料で	

○支線交通のニーズについて

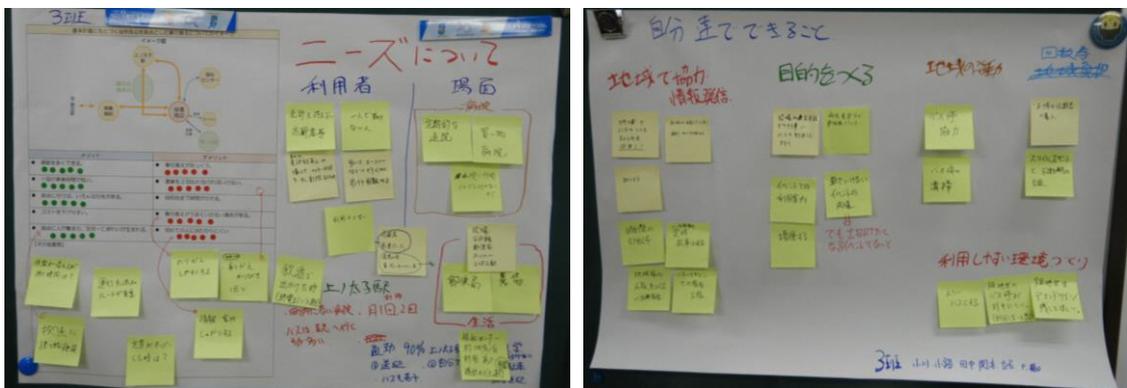
支線交通のニーズ	
ニーズはある 将来運転できなくなったときが心配 使わざるを得ない状況になる 子どもが大きくなると送ってもらえる人がいなくなる たすけ合いも将来人がいなくなる 通学もニーズはある 役場の支所をつくる (行かなくてすむ)	
現状	
車、喜志、バス、喜志駅利用が多い 喜志が多い あまり使わないが上の太子は自転車、バイク通学がメイン？	

○自分たちにできること・利用促進について

利用を高める方法	子供、大人ものる	子どものマンガの本を入れる。カラオケ入れる。 子どもがのりたくなる バスの中でのりたのしいことを行なう
	アイデア	楽しいバス停、屋台とか楽しめるもの
	コスト	小型のバスでコスト削減
	情報	太子町アプリでのりつき情報を表示する
	マンパワー不足	町内会にはパワーがない (イベントできない)
	ルート便数	便数については畑、山田の状況をふまえてダイヤを組む

■3班の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	5
1回の乗車時間が短い。	5
拠点に行けば、いろんな行先がある	5
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	5
デメリット	
乗り換えがおっくう	5
運賃を2回払わなければいけない	5
目的地まで時間がかかる	
乗り換えがうまくいかない場合がある	5
初めての人にはわかりにくい	5
その他意見	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	拠点に快適な施設
乗り換えがうまくいかない場合がある	のりかえしやすくする
初めての人にはわかりにくい	情報・案内しっかりする
運賃を2回払わなければいけない	(運賃2回) 乗りかえりびき・1回で
その他	便数が増えるが待ち時間は？
	運行方法よりルートが重要
	定員がオーバーした時は？

○支線交通のニーズについて

支線交通のニーズ	
利用者	
免許を持たない高齢者等	
1人で動けない人	
私の免許証返上に備えてマイカー利用を少し制限するため	
歩いてスーパーなどに行くのに歩行困難な方	
利用は少ない	
高齢者車に乗らない人	
場面	
病院	定期的な通院 買物、病院 病院に行く時、1人では行けないので 通院の時、買物に出かけたい者
生活	役場、公民館、郵便局、スーパー、上の太子駅 郵便局 農協
上ノ太子駅	
町内にない病院（月1、2回利用） バスは喜志へ行く方が多い 通勤90%上ノ太子駅 ①送迎②自分で運転 バスも若干 通学、上ノ太子が多い、 自転車 雨は送迎	
その他	
飲酒で出かけた時（終電までバス運行） 福祉センター1日約100名利用あり、現状のバス運行希望	

○自分たちにできること・利用促進について

自分達でできること	地域で協力、 情報発信	地域でバスのことを知らせる、口コミ！
		知り合いができる（バス友）、便利、出かけやすくなる
		知らせる
		時刻表の全戸配布
		バス停毎の定時発車にする
		地域版の広報をつくる。バス停単位
	目的をつくる	いきいきサロンでの報告、公報
		役場や公民館での行事にバスを利用していく
		社会見学など参加型イベント
		イベントでの利用案内
		増便する
		車でいけないイベントの開催
	地域の 活動	↓
		でも出掛けたくなるイベントでないと
	回数券	バス停協力
		バス停の清掃
利用しやすい 環境づくり	お得な回数券の導入	
	スマイルポイントと回数券の交換	
	小さいバスにする	
	畑地区のバス停まで行きにくい。（利用しないと思う）	
	畑地区はデマンドワゴン残してほしい	

④ワークショップの結果まとめ

■拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	12
1回の乗車時間が短い。	10
拠点に行けば、いろんな行先がある	15
コストを下げやすい	3
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	13

デメリット	
乗り換えがおっくう	15
運賃を2回払わなければならない	10
目的地まで時間がかかる	8
乗り換えがうまくいかない場合がある	15
初めての人にはわかりにくい	6

カテゴリー	意見
料金について	運賃2回はやり方の工夫ができる (運賃2回) 乗りかえりびき・1回で
	支線は無料で
案内について	観光客は案内があればよい
	情報・案内しっかりする
	乗りかえアプリがあればよい
役場拠点について	分かりやすい情報が大切
	拠点なのでとりあえず役場まで行ってくれたらよい
	拠点には休憩できるかいものもできる
	拠点に快適な施設
福祉センターについて	福祉センターは現状の回り方でよい
	福祉バスは通行の方がよい
	現状のルートとこの案の併用が望ましい
乗り換えについて	のりかえしやすくする
	便数が増えるが待ち時間は？
その他	運行方法よりルートが重要
	定員がオーバーした時は？
	ないよりある方がよい

■支線交通のニーズについて

カテゴリー	意見
使用する場面	運転できなくなったとき
	買い物に行くとき
	旅行に行くとき
	お酒を飲むとき
	高齢、障がいのため
	役場に行くとき
	家族が送迎できないとき
	コンサートに行くとき
	美術館に行くとき
	定期的な通院
	買物、病院
	病院に行く時、1人では行けないので
	通院の時、買物に出かけたい者
	役場、公民館、郵便局、スーパー、上の太子駅
	郵便局
	農協

カテゴリー	意見
上ノ太子駅へのニーズ	月に1回
	3カ月に1回
	年に1回
	家族(子ども)毎日
	週1
	2、3カ月1回
	車、喜志、バス、喜志駅利用が多い
	喜志が多い
	あまり使わないが上の太子は自転車、バイク通学がメイン?
	通勤90%上ノ太子駅
	利用は少ない
	町内にない病院(月1、2回利用)
	バスは喜志へ行く方が多い
	①送迎②自分で運転
	通学、上ノ太子が多い、
自転車	
雨は送迎	
バスも若干	
利用する人	免許を持たない高齢者等
	1人で動けない人
	私の免許証返上に備えてマイカー利用を少し制限するため歩いてスーパーなどに行くのに歩行困難な方
	高齢者車に乗らない人
将来について	将来運転できなくなったときに心配
	使わざるを得ない状況になる
	子どもが大きくなると送ってもらえる人がいなくなる
	たすけ合いも将来人がいなくなる
その他	飲酒で出かけた時(終電までバス運行)
	福祉センター1日約100名利用あり、現状のバス運行希望
	ニーズはある
	役場の支所をつくる(行かなくてすむ)
	通学もニーズはある

■自分たちにできること・利用促進について

カテゴリー	意見
料金	お得な回数券の導入
	スマイルポイントと回数券の交換
負担	町会ごとに負担金を出す
	利用者が一部、費用負担する
時刻表	時刻表の全戸配布
啓発活動	いきいきサロンでの報告、公報
個人でできること	住民が乗る 役場や公民館での行事にバスを利用していく
観光	観光資源とタイアップして、イベントづくり
	日本遺産を生かした方法
バス停	バス停の清掃
	バス停協力
自治会	町内会での周知
	町内会にはパワーがない(イベントできない)
団体・会	知り合いができる(バス友)、便利、出かけやすくなる
情報発信	情報の周知徹底
	太子町アプリでのりつき情報を表示する
	地域でバスのことを知らせる、ロコミ!
	地域版の広報をつくる。バス停単位
バス	イベントでの利用案内
	子どものマンガの本を入れる。カラオケ入れる。
	イベントのお知らせをバス停に貼る
	バスのデザインなどバスに乗る楽しさを考える(例)ネコバス
	バスの中に作品や情報を掲示する
	楽しいバス停、屋台とか楽しめるもの

カテゴリー	意見
イベント	役場の用事的时候はスタンプラリーをする
	車に乗らない「チャレンジデー」を決める
	イベントをする
	バスを利用しないといけない、イベントをする
	バスの中でたのしいことを行なう
	社会見学など参加型イベント
	車でいけないイベントの開催
	でも出掛けたくなるイベントでないと
教育	子どもがのりたくなる
その他	小型のバスでコスト削減
	便数については畑、山田の状況をふまえてダイヤを組む
	バス停毎の定時発車にする
	小さいバスにする
	畑地区のバス停まで行きにくい。(利用しないと思う)
	畑地区はデマンドワゴン残してほしい
	増便する

⑥実施風景

